

社会人野球トップの技術に触れる
 ヤマハ野球部 伊藤直輝選手の野球教室

12月30日、社会人野球の日本選手権大会で初優勝を飾った、ヤマハ野球部の伊藤直輝選手（上関出身）の帰郷に合わせ、青少年育成村民会議が野球教室を開催しました。

野球教室は、ふれあいどくむで行われ、年末にもかかわらず、関川中学校野球部と関川村、村上市の小学生約40人が参加し、キャッチボールなどの実技指導や心構えを学びました。



▲キャッチボールを披露する伊藤選手

始めに披露された伊藤選手のキャッチボールをみた大島琉輝さん（小学6年・上野新）は、「速くて球が見えなかった。フォームがすごきれい」と驚いていました。

伊藤選手は、「キャッチボールは軸をぶらさないことが大事」などと小中学生一人ひとりに声をかけながら指導をして回りました。

伊藤選手とキャッチボールをした関川中学校野球部キャプテンの傳拓磨さん（2年・大島）は、「日本の球を受けられることが出来てうれしかった。将来は伊藤選手のようになりたい」と話していました。

関川観光・防災Wi-Fiが
 利用可能となりました！



村では、防災情報や観光情報など、村民や観光客等に提供すべき情報を配信するため、観光・防災Wi-Fi（公衆無線LAN）を整備しました。災害などの非常時に、お手持ちのスマートフォンなどにて無料で無線LANを利用することができます。また、平常時も1回あたり30分の接続制限がありますが、無料で観光ガイドから村の観光情報を得ることができます。

サービスは、1月1日から利用可能で、サービスエリアは関川村役場（役場前駐車場）、観光情報センター内、道の駅周辺駐車場、広域観光インフォメーションセンター内、渡邊邸です。利用エリアは、上記のマークが目印です。

これで、今年のちぐら館前のWi-Fi搭載型飲料自動販売機に続き、村内の公衆無線LAN環境が整備されました。

利用方法や詳しいサービス内容は、村のホームページ（www.vill.sekikawa.niigata.jp/）をご覧ください。

郵便局と「見守り活動等の
 協力に関する協定」を締結

12月19日、村と関川、越後大島駅前、越後女川の村内3郵便局、村内を配達エリアとする胎内市の中条郵便局が「見守り活動等の協力に関する協定」を締結しました。

この協定は、郵便局員が配達中などの業務中に村民を見守り、何らかの異変に気づいた時や道路の損傷、不法投棄が疑われる廃棄物などを発見した場合に情報提供をすることで、村民が安心して暮らせる地域社会を目指します。

調印式で関川郵便局の中原局長は、「そばにいるから出来ることをコンセプトとしている。郵便局があるから安心だと思ってもらえるようにしたい」とあいさつ。平田村長は、「村民とのつながりが深いので心強い。ぜひ、クマの出没もお願いしたい」と期待していました。

県内では、上越市、佐渡市に続き3例目となります。

関川郵便局・越後大島駅前郵便局・越後女川郵便局・中条郵便局 関川村
 見守り活動等の協力に関する協定調印式



えちご関川手づくり市が 開催されます！



旧斎藤医院を会場に雑貨やアクセサリーの展示会を行う「えちご関川手づくり市」が開催されます。「春をまつおなごしょのWASAKAGI(わさかぎ)」と題して、旧斎藤医院つなぐプロジェクトが開催をするものです。旧斎藤医院つなぐプロジェクトとは、旧斎藤医院の建物や歴史を未来に手渡すこと、地域の産院だった場所が人と人のつながりが生まれる場所になることを目指して活動しているグループです。

「わさかぎ」とは「いたずらする」という意味。長い冬に女性がワクワク、ぬくぬくしながら楽しく手づくりしてきたものが展示されます。ニット小物やまくらめ、ビーズ編みなど、いろいろな「わさかぎ」が展示され、販売もされます。ぜひ、足を運んでみてください。

日時 2月18日(土) 10時から19時
2月19日(日) 10時から16時
場所 旧斎藤医院(役場となり)
問い合わせ ☎ 090-5818-4050(近 美千代)

僕は冒険王になる！ 鈴木斗基くんの挑戦



昨年の7月にスタートした生涯学習新事業「せきかわ冒険王」の報告会と登録者の意見交換会が、1月12日に村民会館で行われました。

現在の登録者が9人と、まだまだ認知度が低い状況に集まった登録者からは、「選択肢を増やすべき」、「イベント参加の項目や代替項目も必要」などの意見が出ました。

報告会では、鈴木紀夫さん・斗基くん親子(下関)の活動が紹介され、7月に杵差岳に初登頂(写真上)をした斗基くん(小学3年生)は、「登山は、すごく楽しい。立烏帽子に登ったことのある友達もいるので、一緒に冒険王を目指す人が増えたらうれしい」と話してくれました。斗基くんは、10単位以上を取得し、現在登録者のトップです。



▲ど〜むでクライミングに挑戦



今回の雑煮は、「大したもん蛇雑煮2017」。塩味ベースの出汁を挽肉入りのあんかけにし、地元産の越後朝日豚を香ばしく焼き上げ、山菜のしょうゆ漬けと野菜をのせた和風雑煮で勝負しました。

村上市から来た30代女性は、「ゆずの香りがさわやかで、あんかけの出し汁も美味しかった。下から出てきた大きな肉にもびっくり、やわらかくておいしかったです」と笑顔で話してくれました。

当日は晴天に恵まれ、北海道や広島県からも参加する日本最大級の雑煮イベントには、2万5千人が来場。準備した450杯は完売となりました。結果は、38店舗中、12位と健闘しました。



もん蛇もたまげると風雑煮で勝負
〜第13回城下町しばた全国雑煮合戦〜